



第67代理事長 加藤 大輔

【はじめに】

昨年、新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、私達の生活を一変させました。経済や社会といった全ての活動が自粛に追い込まれ、今もなお大きな影響を与えています。当たり前に過ぎてきた日々が当たり前ではなく、誰もが予想さえしなかった世界で、これまでの価値観や文化も覆しかねない事態が頻発し、青年会議所もまちも人もかつてないほどの大きな転換期を迎えているように感じます。

そんな状況のなか、今を生き抜くことに手一杯になってしまっている私達は、目の前のことを注視しすぎるあまり、他者や地域のことを考えず行動してしまっていないでしょうか。そんな空気が蔓延してしまえば、地域や社会は衰退の一途を辿り、子ども達にこのまちの未来への希望を繋ぐこともできません。

思い起こせば、戦後の焼け野原で先行きが不透明な状況で、微かな希望に向かい勇敢に立ち上がった青年達が自ら設立した組織が青年会議所であったはず。多治見青年会議所の設立趣旨書の冒頭には、「今日の社会に於いては其の行動の前提となる判断には十分慎重でなければならず、その故にこそたゆまざる修練の道を敢然と突き進んで行かねばならないのであります」とあります。これは現状を十分に把握した上で分析し、未来への新たな扉を切り拓くために己を律し勇気を持って挑戦することであり、正に今の私達の目指すべき姿そのものです。だからこそ、私達はその創始の精神に立ち返り、たとえどんな苦難に直面したとしても決して諦めることなく、さらなる先を見据え積極果敢に立ち向かっていかなければなりません。そして、その原点を起点にして未来を明確に思い描くことで、それがこのまちに一筋の光が差し込み、未来への大きな希望の道へと繋がっていくのです。

今後、社会がますます複雑さを増し、誰もが先を見通せない時代になったとしても、このまちの未来を切り拓いていくのは私達青年です。今こそ志をひとつにし、共に活動してまいりましょう。

【自律した青年経済人として】

今後「VUCA」と呼ばれる時代を迎え、経済のグローバル化が急速に進む中、技術革新によるイノベーションの加速が伴うことで、既存モデルの崩壊や再構築が始まり、これまで以上に社会の不確実性が高まっているように感じます。社会や地域の課題がこれまで以上にますます複雑化し、解決の道筋が曖昧模糊になるにも関わらず、私達の取るべき行動はこれまでと同様で良いのでしょうか。これからの私達に必要なことは、過去の成功体験にすがることや否定することではなく、それらを起点として、問題や課題に潜む物事の本質と関連性を見極め、俯瞰的に課題を解決できる方策を見出し、そしてその課題に向かい能動的に行動することなのです。

私達は今起こっている物ごとの上辺だけを捉えるのではなく、そこから今後起こりうる可能性を想定し、その上で変えるべきか守るべきかを明確に自分自身で見極める判断力と、世のため人のために行動できる力を身にまとい、真の自律した青年経済人として勇気を持って果敢に挑戦し、このまちのために寄与できるよう邁進していかなければなりません。

多様に変わりゆく変化の激しい時代だからこそ、広い視野を持つだけでなく、激しい変化を見極めることのできる柔軟でしなやかな発想をもとに行動に繋げ、希望溢れるまちの未来のために、本質を見極め行動し続けることのできる「自律型リーダー」を育成してまいります。

【安心・安全なまちへ】

私達が住む多治見市は、市街地中央を土岐川が流れ、土岐川に流入する中小の支川が数多くあり、実際には市街地における浸水リスクが高いまちであることを一体どれだけの人が知っているのでしょうか。これまでも多くの災害が起こり、それを教訓にして行政も災害に対して様々な対策を講じていますが、昨年全国規模で突如起こった集中豪雨や、未曾有の感染症の発生といったここ数年その想定を超える大きな災害が多発しています。そして、南海トラフ大震災も近い将来起こると言われ続けています。

そんな災害と隣り合わせで生きているのにもかかわらず、このまちに住む私達市民は、このまちは安全だとか決めつけてしまっていることで、災害に対して他人事になってはいませんか。もし仮にここで大きな災害が起こった時に愛する家族や会社を守ることができるのでしょうか。私達は地域のリーダーとしてこのまちの未来を背負っていく責任があります。だからこそ、今後起こりうる災害に対して、決して臆することなく正面から向き合い、企業やまちのリーダーとしての自覚を持ち、率先して人々を助けることができる行動力を身に付けなければなりません。

そのためには、まずは私達メンバーが災害や防災の基礎知識を深めるだけでなく、災害が起こった時に的確な行動ができるよう常にまちの状況を把握し、迅速に対応できる姿勢を学ばなければなりません。そして、私達が先頭に立ち、市民に対して防災意識を高揚させ、今後を担う世代に広く伝播させていくことで、普段の生活の中に防災の重要性を念頭に置き、そして有事の際には、お互いが助け合い行動することのできる市民をひとりでも多く増やしてまいります。

私達がこのまちの未来を担う責任世代として、市民に防災の重要性を広く伝え、地域が支え合えるような関係を構築することで、子ども達の笑顔が満ち溢れるまちを創造してまいります。

【むすびに】

コロナショックにより経済情勢がますます不安定になる中、青年会議所活動より仕事に集中すべきだという声をよく耳にします。私達はなぜ青年会議所活動をするのでしょうか。青年会議所活動を通じて私達は、自分のためだけでなく、自身が守るべき人のために、そしてともに生きていく人々のために、変革の能動者として自らの地域や社会をより良く変えていく責任があるからです。だからこそ、私達一人ひとりがその大義をもち、行動で示していくことで、志とともにする仲間を増やし、運動の輪を広げてまいります。

今後様々な困難に直面し、大きな壁が立ちふさがることも、私達一人ひとりが思考を止めず、仲間達と妥協することなく議論を重ね、実行に移せば必ずや道が切り拓かれます。40歳までという限られた時間しかない今を生きる私達だからこそ、様々な機会をチャンスと捉え、常に自己研鑽に努め、仲間達と切磋琢磨し合うことで成長に繋げ、地域から必要とされる魅力ある団体へと更なる飛躍を遂げてまいります。

光り輝く素晴らしい未来を切り拓くため、私達一人ひとりが自己を磨き、修練を重ね、そして地域のリーダーとしての自覚と責任をもち、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、全力で取り組んでまいります。

執行部紹介



副理事長 三和 義幸

新年あけましておめでとうございます。本年度、副理事長を務めさせていただきます三和義幸と申します。総務・渉外委員では、青年会議所の方針をメンバーが共有し、互いの親睦を深め、信頼関係を強めることで組織力を高めてまいります。また、渉外においても、関係諸団体の方々と連携や、市民の方に青年会議所活動について知っていただけるよう情報を発信してまいります。これまでの経験を活かし精一杯活動してまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



副理事長 鈴木 亜紀子

お健やかに新年をお迎えのことと存じます。本年度、副理事長の職をお預かりします。鈴木亜紀子と申します。防災意識醸成委員会では、今後まちを担う世代である子どもたちの防災意識を醸成し、災害に対してお互い助け合い行動できる市民を増やしてまいります。昨年度の専務理事経験や本年度の本会出向で得た知識を活かし組織を俯瞰し、副理事長として理事長を補佐し委員会を指導してまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



副理事長 長尾 有祐

新年あけましておめでとうございます。本年度副理事長を務めさせていただきます長尾有祐と申します。自律型リーダー育成委員会では、コロナ禍や不確実な社会においても、自らを律して行動し人々を牽引できる人材を育成してまいります。担当副理事長として精一杯務めさせていただきますので、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



専務理事 坂崎 雄介

あけましておめでとうございます。本年度専務理事を務めさせていただきます坂崎雄介と申します。事務局の長として組織を下支えするとともに、多治見青年会議所が地域と共に歩んでいけるような組織運営を心がけてまいります。歴史ある多治見青年会議所の専務理事という修練の場をいただけたことに感謝し、全力で職務を全うしたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

委員長紹介



総務・渉外委員会
加藤 賀裕

お健やかに新年をお迎えのことと存じます。総務・渉外委員会では、メンバーが志をひとつとし運動の中で、互いに助け合うことのできる組織を目指し活動してまいります。すべての運動の目的が達成されるよう、情報共有・発信、活動への参加促進など、全力で組織を支えてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



自律型リーダー育成委員会
滝 文謙

新年あけましておめでとうございます。自律型リーダー育成委員会では、今までのやり方に頼り切らない自分自身の広い視野と問題の本質を見極める力と行動力を持った自律型リーダーを育成してまいります。私達が自律型リーダーとなり、不透明なこのまちの未来を切り拓いていきましょう。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



防災意識醸成委員会
丹羽 亮介

新年あけましておめでとうございます。防災意識醸成委員会では、まず我々メンバーが災害に対して率先して行動できる人材となつていただきます。そして子ども達に自分の身は自分で守る力とお互い助け合う力を育みます。このまちにお互い助け合い行動できる人を増やし、安心してらせるまちへとつなげてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

新入会員紹介



(株)マルタボール
伊藤 珠永 君



地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
伊藤 祐大 君



アライアンス(株)
曾根 大祐 君



(株)谷口製陶所
谷口 雄亮 君



ふるたでんき
古田 明宏 君



(株)Your Best
堀尾 大志朗 君



東濃信用金庫
箭引 亮介 君

出向者紹介

(公社)日本青年会議所

内部会計監査人グループ	副代表	鈴木亜紀子
地域グループTOYP委員会	委員	小澤 全和
地域グループTOYP委員会	委員	小境 邦裕
国家グループ次世代教育推進委員会	委員	吉田 企貴

(公社)日本青年会議所東海地区協議会

副会長	小境 邦裕
東海フォーラム2021運営委員会	委員 加藤 聖規
持続可能な東海創造委員会	委員 寺島 大貴

(公社)日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会

組織連携推進会議	委員	加藤 久明
アカデミー委員会	委員	佐藤 裕基
岐阜ブロック大会2021実行委員会	委員	若尾 将成
事務局	事務局員	水野 恵介

日本青年会議所業種別部会窯業部会

窯業部会	部会長	吉田 企貴
窯業部会	運営専務	水野 恵介
窯業部会	監事	虎山 宗哲
窯業部会	常任委員	原 正嗣
窯業部会	事務局長	藤田 悠吾